



赤い羽根共同募金P.R活動

8月5日(土)、安平町社会福祉協議会の方に案内いただき、道の駅あびらD51ステーションでの赤い羽根共同募金P.R活動にボランティア同好会6名が参加。街頭募金の呼びかけとチャリティーイベントとして行われた射的コーナーの補助を行いました。



参加した生徒は、子どもたちや地域の方と関わりを持ってよかったと振り返っていました。

夏季休業明け全校集会

8月18日(金)、久しぶりに生徒が登校し、夏季休業明け全校集会を行いました。石若校長から、SNSなどを通しての人との関わり方や接し方について話がありました。また、3年生の進路活動に対して激励の言葉をかけていました。その後、町が実施する「令和5年広島平和記念式典派遣事業」に、本校代表として参加した1年A組の山崎さんによる報告会を実施。自身も長崎で生活していた経験があるそう。被爆以前の活気にあふれていた広島市の様子と

追分高校です

137

被爆直後の悲惨な風景、そして青い空と緑に囲まれた現在の原爆ドームの姿を対比させながら「今の平和なこの日本で、過去にこのような悲惨な出来事が起こったということをお忘れてはいけない」と語っていました。研修の成果は、町内の各公民館で実施するパネル展で展示します。

林業体験ツアー1学年

9月4日(月)、1学年の国語、公民、理科の教科横断学習として、防災教育等と現地視察研修を行う林業体験ツアーを行いました。胆振総合振興局の協力で、地域の産業である林業の現場を見学。職業観の育成を図る目的に行われ、普段何気なく目にする木や林についてより興味を持ち、エコや環境、防災などにより理解を深めました。

避難訓練

9月6日(水)、6校時の時間



帯に避難訓練を実施。北海道胆振東部地震のあったこの日を本校の1日防災学校の日に設定し、地震・火災の避難訓練を行いました。駐車場へ避難の後、コロナ禍で行われていなかった救助袋を使った脱出訓練を行い、各クラスの2〜3名の代表者が、3階の生物室から地上まで降りました。最後に石若校長から、避難に要する時間について、訓練して実際行った経験がないとこのさの行動に移すことが難しいことなどから学校で行う一つの訓練が社会に出てからも大事であることなどが話されました。



【10月の行事予定】

- 13日(金) 漢検(3年)
- 20日(金) 地域清掃ボランティア(1年)
- 24日(火) 年金セミナー(1年、3年)

▶皆様のご意見をお寄せください◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555) 〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地 ホームページで「追高の今」をご覧ください。【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】



追高=一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会え、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高=一人ひとりを伸ばせる学校